

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名 岐阜県発明くふう展実行委員会負担金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 技術支援係 電話番号：058-272-1111 (内 3049)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 400千円 (前年度予算額：400千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	400	0	0	0	0	0	0	0	400
要求額	400	0	0	0	0	0	0	0	400
決定額	400	0	0	0	0	0	0	0	400

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県民の発明思想の高揚と科学技術の振興並びに地域産業の発展に寄与するため、発明くふう展を開催する実行委員会の一員となり、負担金を支出し活動を支援する。

(2) 事業内容

■ 「岐阜県発明くふう展」概要

□ 目的

県民の優れたアイデア・発明考案品を募集し、各地域から集まった優れた作品を一堂に展示することによって、技術開発の奨励、発明の奨励、発明思想の高揚を図ることで科学技術の振興並びに地域産業の発展に寄与する。

□ 開催日程 令和3年10月下旬から11月上旬のうち4日間

□ 開催場所 ショッピングセンター「マーサ21」

□ 主催 岐阜県、岐阜市、(一社)岐阜県発明協会

□ 運営 岐阜県発明くふう展実行委員会

- 表彰部門 一般の部、児童・生徒の作品の部、
児童・生徒の絵画の部、商標・社標の部

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県発明くふう展は、技術開発の奨励、発明の奨励、発明思想の高揚を図り、強いては科学技術の振興並びに地域産業の発展に寄与することを目的としており、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	400	岐阜県発明くふう展実行委員会事務局（(一社)岐阜県発明協会）への負担金（400千円）
合計	400	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

各都道府県で同様の展示会を開催し、募集した作品のうち学生児童の優秀な作品を（公社）発明協会が主催する「全日本学生児童発明くふう展」、「未来の科学の夢絵画展」に推薦する。全国から募った作品からさらに優れた発明くふう作品を顕彰している。

(2) 後年度の財政負担

継続して県が負担。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県発明くふう展は、（一社）岐阜県発明協会、岐阜県、岐阜市が主催しており、また、科学技術の振興並びに地域産業の発展に寄与することを目的としており、その経費の一部を県が負担することは妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 児童生徒を中心に県民に発明の奨励することで、世代を担う人材に創造性豊かな人間形成を養い、発明くふうの楽しさを体得させる。また、法人、個人を問わず、発明、技術開発の奨励を図ることで地域産業の発展に貢献する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

発明の奨励の達成度を示す適切な指標を設定することが難しいため（出展数は各市展受賞数に固定され、発明くふう作品の質を向上する事業ではない）

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 ■2019年岐阜県発明くふう展について
開催日程 令和元年10月18日（金）～10月21日（月）
出展・表彰件数
 出展品約344点中から、特に優秀な発明や児童生徒の作品・絵画計111点を決定した。
 ・一般の部 15点（22点）
 ・児童・生徒の作品の部 76点（207点）
 ・児童・生徒の絵画の部 30点（103点）
 ・商標・社標の部 表彰対象外（12点）
 ※各部門の数値は表彰点数で、かっこ内は出展数。
来場者数 約1,500名以上
 ※一般の部（有償小間分）、児童・生徒の絵画の部、商標・社標の部の展示スペースへの来場者数は含まない。（これらの展示スペースへは、自由に入出りできるため、来場者数は不明）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

全日本学生児童発明くふう展に24点推薦し、5点が入賞
 未来の科学の夢絵画展に103点推薦し、15点が入賞

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
（評価） ○	<p>技術開発や新商品の開発の源は発明の奨励であり、各地域から募った優秀な作品を岐阜県発明くふう展で展示し、表彰することで、科学技術の振興や地域産業の発展につながるため、事業の必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
（評価） ○	<p>岐阜県発明くふう展で展示し受賞した作品は、全国展へ推薦され、一層の県民の発明の奨励に繋がっている。また、各賞の受賞は、各地域少年少女発明クラブ活動の活性化、県内企業の技術開発の活性化などに繋がる効果がある。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
（評価） ○	<p>岐阜県発明くふう展の出展作品は（一社）岐阜県発明協会の各支会が審査し推薦する、また、展示は県、岐阜市、（一社）岐阜県発明協会が連携して、効率的に運営している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 児童生徒の理科離れに代表されるよう科学技術力の低下が懸念されており、創造性育成は重要な課題である。地域を担う企業人材の育成という面もあり、引き続き事業を進める必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き、岐阜県発明くふう展は、県民の技術開発の奨励、発明の奨励、発明思想の高揚を図っており、今後も連携して事業推進をしていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	